

理事会の動き

◆第94回理事会報告

平成3年10月10日(土)に第94回理事会にて、藤沢駅南口の「魚万会館」にて開かれました。

9名の役員が出席し、次の通り審議・決定されました。

- ①素心学院敷地土砂崩れ、復旧・防止工事に伴う資金借入れについて、各方面との調整が終了、工事着工のめどがたちました。これに伴い次の2点について審議・決定が全理事の賛同で行なわれました。
- ②県社会福祉協議会より一千八百万円を無利子15年間均等返済にて借り入れる件
- ③担保として、土地17筆を提供する件

尚、工期は11月1日より三ヵ月間。施工業者は(株)西川組。

コンクール入賞

去る11月1日、横浜市健康福祉センターにおいて第5回ふれあい広報紙コンクールの表彰式が行われた。昨年に続いてこの「そしん」は、「社会福祉協議会賞」をいただいた。114点の応募があった中で中には、老人クラブや作業所など様々な団体があった。手書で毎月発行していたり、皆さん本当にふれあいの一つとして頑張っておられる。「そしん」もたくさんの方々に親しまれるよう努力を



ふれあい広報紙コンクール表彰式

ありがとうございます

「東京築地中央市場福祉報徳会」の会は、東京の築地中央市場で商いをされているたくさんの方々が、基金を拠出し合いました。福祉活動の為に団体です。4年前に、土井梅彦氏にご紹介をいただき、福祉報徳会からのご寄附を頂戴する事となりました。10月14日、映画に出てくるような独特の雰囲気の中で築地市場にお伺いし、報徳会の役員の方

々より、四回のご寄附をいただきました。毎年50万円ずつ、合計で200万円にもなりました。ほんとうにありがとうございます。皆様方のご厚意に添えるべく、入所者、職員ともども、元気に歩みつつけます。

「東海大ワークキャンプクラブ」

みなさん、素心会後援会に加入してみませんか!?

私たちは素心学院の運営を側面より援助し、少しでも障害者に対する理解を深め、あわせて福祉に寄与できればという思いで活動をしています。会費は個人年1,000円以上、団体 10,000円以上です。会員には、新聞「そしん」(年2~3回)が郵送される他「後援会ニュース」が届きます。

後援会加入のお誘い

すぐ会員になるには……郵便局の郵便振替にて下記の口座に会費を払い込んで下さい。用紙の裏の通信欄に「新」とお書きになり、できれば素心学院との関係をつけ加えていただければ幸いです。

●口座番号 横浜7-019507
社会福祉法人 素心会後援会

おりかえし、パンフレット、領取書等をお送りいたします。

後援会会長 水沢孝幸

事務局 千259-01 神奈川県中部大磯町虫窪24番地

素心学院内(担当/彦坂)
TEL.0463-71-1255
現在 384名
会員数

又夏の盆踊り、秋の運動会、冬のクリスマスにはなくてはならない存在として、準備、あとかたづけ、楽しい出し物などで大活躍をしてもらっています。サークルの卒業生の中から素心学院の職員になった人もあり、先輩と後輩のつながりもあります。人と人とのふれあいは、いろいろな形や新しい方向を生み出してゆく可能性を秘めています。ワークキャンプの皆様ありがとうございました。そしてこれからもどうぞ、よろしく願っています。

▼今年は台風の当たり年(?!)だった。まさかとは思ったが、運動会当日(10/13)に台風はやってきた。前日、準備をしたが、「やるなら今日だ」と思ったのは、私だけではないだろう。ジュース、ピザ、アイス、お弁当は楽しかったが、やはりパン食の競争はしたかった。風が去った後の夕焼けの美しさが心に残った。

編集後記

▼雨・雨・雨! とにもかくにも雨の日ばかり。テニスを何度企画しても、毎回雨が降る。ひどい時には、台風が来る。通称「アメ男」になってしまった。しかし、よく考えてみるとこれだけ雨の日が多いのだから、私はあたりまえ。逆に晴れになる人が特異なのかも。きつそうだ!! (見▼雑誌の片隅に中国の体験レポート募集の記事が載っていた。何故だか絶対に行けると思っていた。信じて応募した。だけど、残念ながら返事はこなかった。今だに来ない事が不思議なのだが、私が中国に行けないということは事実のようだ。人をあててはいけな

(玉)

No. 18

発行/社会福祉法人素心会 素心学院

責任者/田代哲郎

〒259-01 神奈川県中部大磯町虫窪24番地

TEL.0463-71-1255

●特集/素心学院の仕事
11の職場で働く実習A班と4つの作業種目をこなす実習B班



10.13 相次ぐ台風の影響で SOSHIN PIC中止

「食堂」ビアガーデンで盛り上がる!!



ホールでエアロビクス 右端: クラブ講師 志村さん



厨房も大忙し おいしかったヨ!

虫窪24番地

▼ラグビーのワールドカップが始まった。本場が相手となると今回も日本は苦しい試合ばかりになるだろう。国際試合では大敗ばかりの日本だが、あの体格差を考えるとよく頑張っていると思う。▼身長2mで体重100kgの熊みたいな奴が日本のチームにも一人二人いる。でも一人二人なら試合中たまにボールを持った熊に出くわすくらいだからそれ程プレッシャーではない。

▼ところが世界大会となると相手は全員熊である。これは怖い。そんな奴にタックルしたり、されたりするのには痛いですが。▼昔うちのチームにも熊がいて、たまたま相手チームの一番小さい奴にタックルしたことがある。グチャッと音がした。そのまま彼はビクリともせず救急車で運ばれて行ってしまった。

▼単純なボクなどは、そういう劣勢を覚悟で試合にのぞむ姿に感動してしまふ。口の中が渴いて肌がピンとして血が逆流する。▼ウツシャー、やってやるぞ! という気持を持ち続けたいと思う。頑張れ日本!!

(三郎)

素心学院の仕事

特集

その参り 実習グループ編
 十一の職場で働く実習A班
 四つの作業種目をこなす実習B班

素心学院の仕事—その参り
 今回は実習グループ編。
 実習グループは、学院の外で
 就労している人たちの班（実
 習A班28名）と学院の中で働
 いている人たちの班（実習B
 班14名）の2つの班から成っ
 ています。
 職場は学院の中と外、作業種
 もそれぞれ異なる実習A班と
 B班。こんな2つの班の様子
 を紹介しましょう。

実習グループって……

実習グループは、以前は学院の
 外の職場に働きにいらっている人た
 ちの「外実習班」と、いろいろな事
 情で学院の外には働きにいけない
 がそれだけの力を持っている人た
 ちの「内実習班」(内実習Ⅱ就労の
 ための学院内の実習の場)という
 はっきりとした性格が、班名に表
 れていました。そのため内実習班
 で実習をして、外実習班へという
 図式に一応なっていました。

現在は、それぞれ実習A班と実
 習B班という名称にかわっていま
 す。
 実習A班の人たちは、いくつも
 の失敗を重ねながらも努力をして
 きました。その結果、実習から就
 労に切り替わったり、手当がアッ
 プしたりと、待遇面での改善をし
 ていただいています。
 (各職場の方々のご援助には感謝



実習A班の(早飯組)と呼ばれる殿方。壮
 年期の働き盛りから、
 青春真っ只中の青年ま
 で、早々に朝食を済ま
 せ、それぞれの職場に
 散っていきます。
 また、生活ホームの
 十五名のメンバーはも
 つと早起きです。バス
 に乗し、電車で揺られ
 て職場まで。人生は甘
 くないと言ったところ
 です。
 恥ずかしそうに、赤
 く染まった指先を隠す

この道一筋のプロ達

七時十分、「おはよう」の声と
 もに、食堂に現われるのは、我が
 国に仕事を組み立てて工夫してい
 るように、自分たちで働けるよう
 だと仕事の組み立てを工夫してい
 ます。



しょうがを運んでいる(杉山商店
 加賀谷さんは漬物屋さん勤務。学
 院の仲間の後を継いで、立派な二
 代目です。
 他にも大磯町の美化センターで
 の不燃物の分別、ゴミ収集、酪農、
 土木作業等々この道一筋のプロが
 なんと多いことか。ベテランの味
 が光っています。(と期待してい
 ます?)

総勢二八名。十一もの職場で働
 いています。(学院内で厨房、洗濯
 場で働いている人もいます)
 時にスコケ、時には歯をく



ステレオのキャビネットを組み立てている
 (渡辺キャビネット)

四つの仕事をかかき

現在行なっている仕事は、ガス
 レンジマットの下請け作業、シル
 クスクリーン印刷作業、稚草栽培
 作業、木工作業の四種類です。
 学院内での「就労」といった意
 味あいを持たせるために、九時か
 ら五時までが作業時間になってい
 ます。他の班の作業終了時間は四
 時三十分ですが、実習B班の人
 たちは後三十分がなければならな
 くないのです。
 ガスレンジマット作業は、班の
 メイン作業。会社から運ばれてき
 たアルミガスケットを透明のケー
 スに入れてセロテープで止め、箱
 詰めする仕事です。
 稚草作業は、山の中に原木が約



▲ガスケット作業 木工作業▼



一千本ぐらいあり、これを水に付
 け発生させます。収穫した稚草は
 学院の玄関や門のところで販売。
 ほかの仕事の都合や天候などの関
 係もあって、なかなか毎日販売す
 ることができませんが、肉厚のい
 り稚草だと買っていったくださる
 方からの評判。
 シルクスクリーン印刷は、学院
 のキャンブ用のTシャツやカレン
 ダーの印刷をしています。印刷を
 担当している人は二人。職員と一
 緒にインクで汚れた手でがんばっ
 ています。
 木工作業は、専門の作業指導員
 が担当しており、回収グループか
 らも三名参加しています。電動糸
 のこで線の上を切る練習や、ペー
 パーで磨いたり塗装をしています。
 この班はできてまだ一年半です。
 何とかオリジナル製品を作ってい
 こうと試行錯誤中。

これからの素心学院の仕事事情

三回にわたって学院の皆さんの
 仕事の様子を紹介してきました。
 少しはおわかりただけかもしれませんが、
 ここ十年の間に作業種目、各作
 業班の名称、班員の構成など変遷
 を重ねてきました。
 そして三、四年前から学院の基
 本方針の一つにある仕事に力を入
 れてきました。その結果、各作業
 とも、それぞれに「仕事」らしく
 なってきています。働いて得た収
 入で、学院の皆さんに些少ですが
 給料を支払っています。なおかつ
 各作業に必要な経費を、かなりの
 額まで賄えるようになってきてい
 ます。

そんな今、次のような点が指摘
 されています。

素心学院の基本方針

I 入所者は、健康で安全な
 生活が保障される。
 II 入所者は、社会人として
 期待されるような仕事を
 する。
 III 入所者は、個人の生活と
 個性が尊重され、生きが
 いとゆとりのある豊かな
 生活が保障される。

一、仕事に追われ、皆さんの作業
 中の様子や、生活面がなかな
 か見れていない。
 二、一つの作業を、いくつもの班
 で行なっていることの不合理的
 さ。
 三、一つの班で、いくつもの作業
 種目を抱えていることにより、
 職員が分散してしまう。

好評販売中!

★後援会でもカレンダー(一部六〇〇円)を頒布しております。ご利用下さい。

素心
CMコーナー

実習B班では、木工製品を制作・販売しています。

他に
ペーパースタンド
ブックエンド
ペーパースタンド
動物
ハンチ
などあります。

実習B班のシルクスクリーン作業 2つくりました。

1部 1000円
限定販売しています。
(お申し込みは、学院まで...)

★木工製品を置かしていただける場所を捜しています。おに当りの方はご連絡下さい。(担当:小椋)

元気屋カレンダー 1992

制作:実習B班 寸法 388mm x 303mm



通所者総勢16名 二宮町3人 大磯町7人
茅ヶ崎市5人 平塚市1人

自宅から元気に通勤「いってきまあす！」

See you tomorrow!
あつかれさま!!



雨の日も風の日も、富士見ヶ丘の自宅より石神台を越え毎日学院まで歩いてくる菊川さん(写真中央)は車が好き。通るバスをふりかえり「バス、バス」と嬉しそうに見ている。時折、お母さんが彼の後ろの方でオートバイをおしながら

声をかけているのがほほえましい。

電車、バスあり、歩きあり。

通勤*その2



「あっ! 先生おはよう!」
大磯駅前にて出勤途中の職員に挨拶。
「今日は何勤務?」
「普通勤務だよ」
「そう… 大変だね!」
さり気ない会話の中にも菊地さんの気づかひが感じられる。



内海さん 佐々木さん



通勤*その1
車で送迎

大磯駅でお母さんと一緒に学院の車を待っています。 小野沢さん(左) 一色さん(右)



渡辺さん 曾根さん



玄関から車までお母さんに見送られて。 内海(健)さん



神沢さん

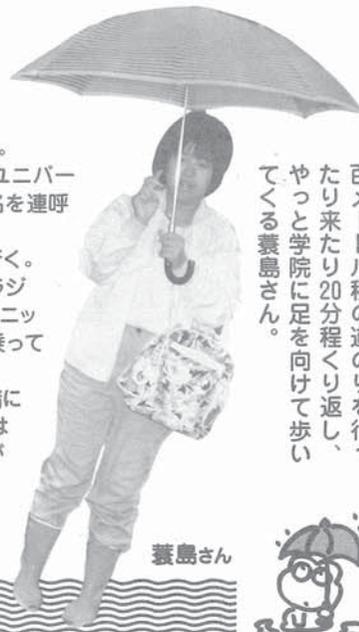


久保さん



学院 滝沢さん

朝のみ自主通勤の滝沢さん。バスの中では、あの高い声で「ユニバーサル証券」など企業名や製品名を連呼しているとか…。帰りは、学院車で大磯駅まで行く。ドライバーが男性の時には、「ラジオつけて下さい」と声をかけ「ニッポン放送」を聞きながら車に乗っている。大磯駅からは、お母さんと一緒に帰る。一人で帰れないわけではないが、一人だと彼の冒険心が彼の足を真直に家の方向には向かせない様なのだ。



養島さん



学院に到着。さあ、仕事です。頑張ってください!!

自宅前よりヤオマサまでの百メートル程の道のりを行ったり来たり20分程くり返し、やっと学院に足を向けて歩いてくる養島さん。

素心歳時記

- ★7月23~25日 山中湖YMC Aにてキャンプ。
- ★8月3日 盆踊り。
- ★8月24日 ピアガーデン開催。
- ★9月10、19日 東海大ワーク・キャンプ「素心舎宿」
- ★9月15日 愛護ソフトボール大会(7/7)で勝ち取った優勝旗が学院に届けられた。
- ★10月13日 雨天の為、運動会は中止。ジュース、ピアガーデンのみ開催。
- ★10月26日 国府小学校バザーに出店

Coffee time in Soshin

父兄ペンリレーの原稿を依頼され、正直いってあわてました。主人が元氣な頃は、何事もお任せでしたので、でも、これを機会に一寸、昔を振り返ってみます。

息子、博もはや四十三才。いつの間にか年令は、一丁前の男子になっていました。月並な表現ですが、本当に月日の経つのは早いものです。あつという間の二十余年でした。

博を学院に入れて頂き、主人と二人で電車にゆられ入所当初は涙をこぼし乍ら往復したものでした。皆様方も同様だったと思います。主人の？額のメガネと赤くなった鼻の頭が今でも忘れられません。

平塚の農業会館での大きいバザー。品の買付。バザー券を売り歩くお母さん達と街中でぶつかり、思わず笑ってしまったりなど。また、子供達にお母さん達の手作りおやつに凸凹形の白玉だんご。柔かく出来上がって困ったゼリー。キャンブに参加しておこげの御飯が出来てしまったり、親達だけで遊んだボール投げとか、色々ありましたね。

父兄ペンリレー

という感じがします。立派な施設というばかりではなく先生一院生一親、と心が通じ合い、院生達にとって第一、第二の我が家にして頂けたら

幸せだと存じます。親も子も年令が高くなるばかりですが(精神年令で行こうと思えます)。御父兄の皆様もお身体には充分に気をつけて子供の為に、また、ご自分の為にも頑張ってくださいと思います。

故人となられたお父さん、お母さん方もきつとそう願っておいでの事と存じます。

終わりに学院の先生方、今後共よろしく御指導の程お願い申し上げます。

これを讀んで頂いた方には思い当たる事も多くある事と存じます。昔を偲ぶというのはいいことではないかとつい書いてしまいました。

現在の学院は、行政の福祉向上、少し時代の流れもさること乍ら、田代施設長始め、諸先生方、保護者会、各御父兄の院生第一という考えの御努力や御協力による心温かい施設になりつつ

昔を偲び 今の学院に感謝

実習B班 沢井二三枝

毎月10日は 給料日

受け取り方は、さまざま

「けやきが なった!」



ここでもチョコレートケーキが一番人気!

素心学院の皆さん、けやきをご利用ありがとうございました。

一時は、騒がしい人達だなあ〜と思ってましたが、だんだん場所をわきまえた行儀等の指導が良くなり、又先生方の苦勞を思えば、私達もがんばっていかなくては…と思うようになりました。今後共、明るく生活できるようお祈りいたします。ありがとうございました。

けやき一同

散歩での話

柳田さんがバツタを追いかけたら、金塚さんが「これたべれるよ、違うの。それはイナゴでしょ」「あア、そう。羽をとって、油でイタメて、お

Coffee time in Soshin

北海道から初雪の便りが届きました。大いなる夢と希望とちよびりの不安を胸に抱き、千歳空港から飛び立って来てから10年が過ぎました。最近よく故郷の夢を見ます。

自分は今の顔なのに夢に出てくる友達は小学生のままの顔なのです。当り前ですね。小学4年生の時に別れ別れになったのですから…。

昭和44年3月。降りしきる雪のなか、大人も子供も手に手を取って唄った。戸頭張ろうノツき上げる空に「燃え上がる男の拳がある。燃え上がる女の拳がある。闘いはこれから、闘いは今から…」僕達は、理由もわからず大声を出して唄った。けれども何かに向かって叫んでいるのだけは子供心に感じていた。炭鉱の町で閉山がきまり、公民館の広場で皆でシユブレコールをあげていたのだ。小学4年生の頃である。僕

達4人はいつも一緒に行動していた。由井ちゃん。徹。和明君そして僕。

ある時こんな事があった。4人でいつもの様に学校から帰る途中和明君が突然「あつ、忘れた」と言ってランドセルから給食費の袋を出して「どうしよう」と心配そうな顔をして言った。そこで、間髪を入れず由井ちゃんが「今日忘れられたら先生に渡せないぞ」と言った。僕と徹も一緒に「そうだダメだよ。どうするのよ」と相づちをうち、僕の場合は由井ちゃんを尊敬して単純にそうなんだなと思っただけだ。そこで4人は由井ちゃんの考えで給食費を使ってしまう事に決めた。

色々な案が出た。ラーメンを食べようとか、くじをひいて帰ろうとか、しかし、由井ちゃんの考えで釧路

路に行く事になった。両親と行った事はあがるが、子供だけで行くのは初めてでちよつとした冒険気分であった。

尺別の駅でキップを4人分買った。買ったのは由井ちゃんである。喜び勇んで汽車に乗る。D51機関車である。釧路の駅に着くと、由井ちゃんが言った。「帰りのキップが買えない」お金が足りなくなつたのだ。皆で相談して色々な案が出た。結局、由井ちゃんの考えで駅で遊んで帰る事になった。オニ二つことか、かくれんぼをして尺別行きの汽車に乗った。

遊びつかれてぐっすり眠つた。駅に着くと先生が待っていた。それから…。次の日、4人共に顔が膨れていた。

「いつかまた逢いたいですね」

学院の皆さんの関心事は、何と云っても「食べること」。食事の始まる前から、食堂の入口に群がって、ドアがあくのを今や遅しと待っています。

食堂での皆さんの席が、今までとガラッと変わったのは、去る9月10日のお昼からです。今まで、各班別に縦横に並べられたテーブルも、すつきりと横並びに統一されるようになりまし。そして、一番大きく変わったのは、お盆に受け取った食事を各自が持ち、どこでも好きな場所について食べられるようになったことです。

伊藤倫博

今までは、各班ごとに、座る席も決められていたのですが、時には、他の班の人と一緒に食事をしたり、窓辺の席で静かに(じ)食事をしたいという希望が少しでも叶えられるようになってきました。自分でおかずのつたお盆を上手

座ってお盆を運ぶ手間も軽くなった人たちも出てきて、今では、すつきり定着していると思えます。気のせいか、以前に比べて、食事中のトラブルも減ってきているように思えます。一度に多勢の人たちが食事をすることになるわけですから、少しでも落ちついた、楽しい雰囲気での食事ができることも、おいしく食べる大切な要素になっていると思えます。

正油で味つけて…」「その前にゆでるんだヨ」さすが大正11年と昭和12年生まれのおおはなし……と、これを聞いてた職員は感心するばかり…!?

散歩での話